

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公表番号】特表2002-511886(P2002-511886A)

【公表日】平成14年4月16日(2002.4.16)

【出願番号】特願平11-512590

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 35/04

C 1 2 N 7/00

// C 1 2 N 15/09

【F I】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 35/04

C 1 2 N 7/00

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月6日(2004.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書(自発)

平成16年8月6日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第512590号

2. 補正をする者

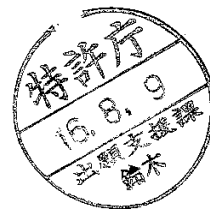
オンコリティクス バイオテック, インコーポレーテッド

3. 代理人

東京都中央区八重洲2丁目3番1号

TEL. 03 (5288) 5811

弁理士 (6490) 志賀正武



4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

(1) 特許請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲全文の記載を以下の通り補正する。



特許請求の範囲

1. 哺乳動物における R a s -介在新生物の治療用医薬の製造のためのレオウイ
ルスの使用。
2. レオウウイルスがヒトレオウウイルスである請求項 1 記載の使用。
3. ヒトレオウウイルスが、1 型レオウウイルス、2 型レオウウイルス及び 3 型レオウ
ウイルスからなる群から選択される請求項 2 記載の使用。
4. レオウウイルスが非ヒトレオウウイルスである請求項 1 記載の使用。
5. 非ヒトレオウウイルスが、哺乳動物レオウウイルスと鳥類レオウウイルスからなる
群から選択される請求項 4 記載の使用。
6. レオウウイルスの 1 以上の型が投与される請求項 1 記載の使用。
7. レオウウイルスの 1 以上の株が投与される請求項 1 記載の使用。
8. レオウウイルスがフィールド分離物である請求項 1 記載の使用。
9. レオウウイルスが投与前にプロテアーゼで処理される請求項 1 記載の使用。
10. 新生物が固体新生物である請求項 1 記載の使用。
11. 新生物が造血新生物である請求項 1 記載の使用。
12. 哺乳動物が、マウス、イヌ、ネコ、ヒツジ、ヤギ、ウシ、ウマ、ブタ、及
び非ヒト霊長類からなる群から選択される請求項 1 記載の使用。

13. 哺乳動物がヒトである請求項1記載の使用。
14. 新生物が、膵臓ガン、乳ガン及び脳ガンからなる群から選択される請求項1記載の使用。
15. 新生物が、肺ガン、前立腺ガン、結腸直腸ガン、甲状腺ガン、腎臓ガン、副腎ガン、肝臓ガン及び白血病からなる群から選択される請求項1記載の使用。
16. *ras*-介在新生物が転移性である請求項1記載の使用。
17. 哺乳動物における*ras*-介在新生物の治療のために有効な薬学組成物であり、(a) 上記*ras*-介在新生物の腫瘍崩壊を引き起こすのに有効な量の少なくとも1のレオウイルスと、(b) 製薬上許容される賦形剤とを含む薬学組成物。
18. 非経口的に投与される請求項17記載の組成物。
19. 上記非経口投与が、静脈内と皮下とからなる群から選択される請求項18記載の組成物。
20. 新生物に直接注入によって投与される請求項17記載の組成物。
21. 局所的に投与される請求項17記載の組成物。
22. 化学療法剤をさらに含む請求項17記載の組成物。
23. 請求項17記載の薬学組成物と、上記組成物の投与のための手段とを含むキット。

- 24. 上記投与のための手段がシリンジである請求項23記載のキット。
- 25. 化学療法剤をさらに含む請求項23記載のキット。
- 26. レオウイルスがヒトレオウイルスである請求項17記載の組成物。
- 27. ヒトレオウイルスが、1型レオウイルス、2型レオウイルス及び3型レオウイルスからなる群から選択される請求項26記載の組成物。
- 28. レオウイルスが非ヒトレオウイルスである請求項17記載の組成物。
- 29. 非ヒトレオウイルスが、哺乳動物レオウイルスと鳥類レオウイルスからなる群から選択される請求項28記載の組成物。
- 30. レオウイルスの1以上の型を含む請求項17記載の組成物。
- 31. レオウイルスの1以上の株を含む請求項17記載の組成物。
- 32. レオウイルスがフィールド分離物である請求項17記載の組成物。
- 33. レオウイルスがプロテアーゼで処理される請求項17記載の組成物。